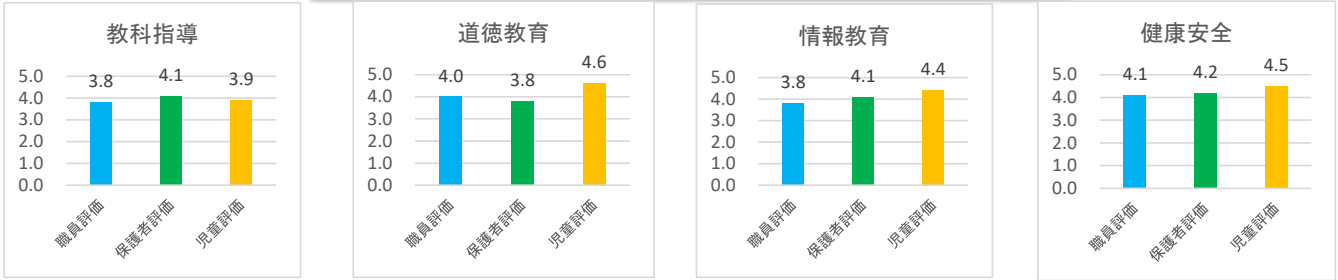


知・心・体の充実



「わかった」「できた」が実感できる授業づくりについては、昨年度より低めの評価となりました。コロナ禍であろうとも学びを止めないために教職員も研修を重ねています。タブレットの有効活用を図りながら、更に学習内容の定着と学力向上のための授業改善を目指し、「柏スタンダード」が毎日の授業で実感できるよう研修に努めます。

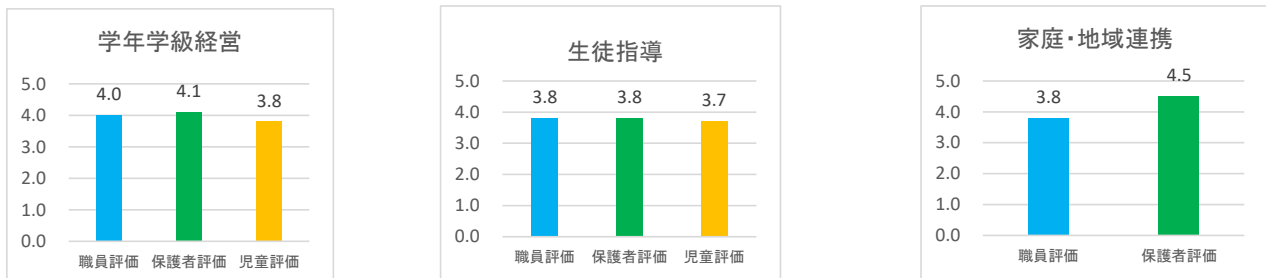
心を育てる道徳教育については、児童の肯定感が一番高かった項目です。学校生活の様々な場面を通して、児童の一人一人が相手を尊重する意識を培いつつ自分のこととして考えられるよう、今後も継続してサポートしていきます。

情報教育については、一人一台タブレットが定着しました。ご家庭のご協力を得ながら、使用方法や情報モラルなども含め今後も効果的な活用にてまいります。

健康安全については、新しい生活様式が当たり前の生活様式となって過ごしていることが学校評価から考えられます。マスクの着用、うがい、手洗いの励行などを踏まえ、社会情勢を注視しながら、今後も自分の命を守ること、そして他人の命を守ることについて伝えていきます。



安心・安全、地域とともにある学校



「いじめ」については、「しない・させない・許さない」という強い決意で、今後も家庭との連携・情報共有に努め、「いじめは絶対にゆるされない」と答える児童が100%になるよう指導を続けます。また、困った時や気になることがあった時に自分一人で悩みを抱えることなく、柏小に関わる職員に気軽に話せるような雰囲気醸成を今後も継続していきます。

「自分のよき」に自信がもてない児童が多い傾向にあります。児童が自己肯定感(自分という存在の価値観)を感じられる場の設定を更に意識し、一人一人が自分の良さを気付けるよう言葉掛けを続けていきます。

家庭と地域の連携については、コロナ禍であるとはいえ、学校と家庭・地域が子どものために手を取り合えた実感が少なかつたとして教職員が厳しい評価結果となりました。規模は縮小しているものの、運動会や学習発表参観日等の学校行事など、状況を考えながら実施できることが少しずつ増えてきました。

新しい生活様式の中で、学校でのお子さんの様子を参観していただく機会を社会情勢を見据えながら設定し、学校と家庭・地域がつながり、安心安全に協働していけるのか、よりよい方法を模索します。



ご多用の折、保護者アンケートにご協力いただきありがとうございます。自由記述の保護者の声を一部ですが紹介いたします。ご意見・ご要望をしっかりと受け止め、できることからスピード感をもって対応してまいります。尚、文章表記は語尾などの表現を一部変更させていただいていることをご了承ください。

- 2年間子どもがお世話になっています。最初の学校で躓きがあったものの、こちらにきてから楽しく通っている。高学年になり、学校運営に興味を持ち始めた。これは、学校教育に携わる先生方の教育方針が同じような方向を向いているからこそ、子どもが学校との関わりを前向きにとらえた証拠だと思っている。感染症対策で学校運営も大変だろうが、どうぞ教育活動を進めてほしい。
- いつも大変お世話になっております。熱心な教育活動に感謝している。タブレットの活用が、学級閉鎖などでも自宅で活用できるのは大変ありがたいが、スライド等の制作物があると部屋にこもって作業をすることが多い。ネットを使って学習以外のことをしていることもあるようで少し心配だ。
- 要望になりコロナ禍で難しいとは思いますが、教室で普通授業を受けている姿を見たい。子どもは毎日楽しく登校しているので、先生方やお友達に本当に感謝。たまに朝の玄関で上級生に押されたり、嫌なことを言われたりするところがあるので、気に掛けてほしい。
- PTAがボランティア制になったり、ウイルス蔓延防止対策などで、保護者と学校がゆっくり話し合える機会がない。保護者が学校に意見を伝えやすくなるインターネット掲示板の利用や、保護者同士がICTでつながれる機会を増やしてほしい。
- 一時は登校を渋る時期もあったが、先生方の親身なご対応のおかげで、今は毎日楽しく登校している。
- 午前中に急に「学級閉鎖なので迎えに来て下さい。」と言われても対応できない。方法を早急に改めるよう、市教委に声を上げるか、現場のレベルで現実的な対応に変えてほしい。社会全体がウィズコロナで落としどころを見つけている中、学校だけがまるでゼロコロナのように対応している。市教委は、文科省や道教委の通知の一番難しいところを見つけて対応しているように見える。「子どもの成長や経験のために、どこまでならできるのか」という模索と許容を現場でしっかりしてほしい。
- いつもありがとうございます。今年は、運動会も学習発表会も見られて良かった。
- クロームブックとの距離感が難しいと思う。学習以外には使わないようにさせたい。「帯広市の物を借りているだけだ」という認識、子どもたち皆が持っていてほしい。
- 持ち物が多いときがあり、学校の鍵盤ハーモニカなどを置いて帰れるようにしてほしい。
- コロナ禍、先生、職員の方々の努力の中、子供たちが楽しく学校生活を送れているのが凄く伝わり、感謝している。

